

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

生駒市立生駒小学校 教諭 切石 哲生
講師 田中 宏樹
講師 金田 充晃
講師 井上 園子
講師 池之内ひろみ

1. 単元名 いこまのみりよく伝え隊

2. 単元の目標

○いこまの魅力を調べ、情報を整理して伝えたい内容をポスターにまとめることができる。

(知識及び技能)

○商店街の昔と今の写真やまちづくり、お店に携わる人から話を聞いて、いこまの魅力に気づき、自分たちにできることを考えたり、ポスターなどを通して伝えたりすることができる。

(思考力・判断力・表現力等)

○自分たちが調べたいいこまの魅力を伝えたいという目的意識をもち、意欲的にいこまのまちづくりに尽力している人と関わったり、ポスターなどにまとめたりすることができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、「生駒駅周辺の商店街」を教材として取り上げる。生駒小学校の校区にあり、日ごろから買い物や通学路として商店街を通ることが多く、児童にとって身近な場所であり意欲をもって学習に取り組める教材と言える。そして本教材では、商店街で働く人々の「思い」に視点を置き、商店街を守っている人々の思いを実際に聞き自分たちが街のためにできることを考えさせたい。本単元では、児童になじみのある「いなもり」「チロル堂」「生駒市役所」で働く人に話を聞き、感じたことをポスターなどに表し、他の学校に伝える表現活動へと発展させることができる教材であると考えます。

(2) 児童観

本学年の児童は、第2学年において、ぴっくり通りを通り、生駒ケーブルに乗って生駒山上遊園地に社会見学に行っている。コロナ過で、町探検はできていないが、リモートで、ぴっくり通りのえびす屋(八百屋)、いなもり(文具屋)のお話を聞いたり、質問したりしている。また、3学年の1学期には校区探検も行い、校区の学習を行ってきた。校区は、自分たちが暮らしている地域であるので、とても意欲的に学習してきている。

本単元ではいこまの魅力を知るために、様々な人と接してそれぞれ思いがあることに気づき、自分たちの地域に愛着をもてる児童に育ててほしい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、校区で自慢できるものについて話し合う。その中で他の地域にはない、いこまの魅力について考えさせたい。その一つとして駅前の商店街を取り上げる。今と昔の駅前商店街の写真を提示し、変わったものや変わっていないものなど、気づいたことを出し合う。また、全国的に商店街が減少している資料を提示し、いこまに商店街が残っている秘密を調べる意欲につなげたい。

次に、生駒市役所の都市整備部拠点形成課の方や、駅前のお店の方をゲストティーチャーとして招き、地域への思いや考えを学ばせる。学んだことをまとめ、どの人もいこまのために尽力したり、人とのつながりを大切にしたりしていることに気づかせたい。

そして、地域のよさを残していくためにはどうすればよいか、自分たちにできることはないだろうかと考えさせる。地域を応援するポスターを作ったり、他校と交流して知ってもらったりする。

これらの活動を通して、地域のものや人を大切にしていくために、自分たちにできることを行動につなげていきたい。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

相互性・・・現在の商店街の様子は、過去の人々が守ってきたものであり、自分たちが繋いでいかないと残らない可能性があるということ。

公平性・・・商店街を守るために一人一人ができることを考える。

有限性・・・現在の商店街は、いつかは無くなってしまいう物であり、守っていく必要があること。

・本学習で育てたい ESD の資質・能力

コミュニケーションを行う力

街のためにできることを周りの人と話し合う。

他者と協力する態度

調べたことをポスターや映像にする時、協力して一つのものを仕上げる。

つながりを尊重する態度

街で働く人の話を聞き、様々な人々とのつながりが自分たちの生活を豊かにしている。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代内の公正を意識できる

自分たちだけでなく、幅広い世代の人々が安心して過ごすことができる。

幸福感に敏感になる、幸福感を重視する

自分たちの幸せが、次の世代の幸せとは限らず、次の世代が幸せになるように守っていくものがある。

・達成が期待される SDGs

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

4. 単元の評価規準

ア知識・技能	イ思考・判断・表現	ウ主体的に学習に取り組む態度
<p>①商店街で働く人々から話を聞き、いこまの街のことを理解することができる。</p> <p>②いこまの魅力を調べ、情報を整理して伝えたい内容をポスターなどにまとめることができる。</p>	<p>①商店街の昔と今の写真やまちづくり、お店に携わる人から話を聞いて、いこまの魅力に気付き、自分たちにできることを考えている。</p> <p>②いこまの魅力を残すために、ポスターなどを通して表現している。</p>	<p>①いこまの魅力を積極的に考えている。</p> <p>②自分たちが調べたいこまの魅力を伝えたいという目的意識を持ち、意欲的にいこまのまちづくりに尽力している人に話を聞いている。</p> <p>③いこまの魅力をポスターなどに表現して発信しようとしている。</p>

5. 単元の指導計画（全 18 時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	<p>○校区内でじまんでできる魅力を考える。</p> <p>・商店街、チロル堂、宝山寺、いなもり、生駒山</p>	<p>・生駒市の人口が多いことを資料とともに伝え、自分たちの住んでいるところはとても魅力的なことに気づかせるようにする。</p>	ウ① (主体的)
2	<p>○今なお商店街が栄えている理由を考える。</p> <p>・商店街の方が買ってもらえるから</p> <p>・商店街にしか売ってないものがある</p> <p>○駅前のことをよく知る人の地域への思いや考えを聞く。</p> <p>○商店街のお店の人の思いを聞く。</p> <p>○聞いたことをまとめる。</p> <p>・どの人もいこまの街のために頑張っている。</p> <p>・人同士のつながりがあった。</p>	<p>・昔と今の商店街の写真を見比べ、違いや栄えている理由を考えさせるようにする。</p> <p>・地域の人に来ていただき、話をしてもらう体験を通して、地域の人々の思いを肌で感じられるようにする。</p> <p>・地域の人々の思いを聞き、自分たちも地域の良さを守り続けなければならないと考えさせるようにする。</p>	イ① (思判表) ア① (知・技) イ① (思判表)
3	<p>○地域のよさを残していくためにどうすればよいか考える。</p>	<p>・地域のよさを周りの人に知ってもらおうという目的意識をもたせる。</p>	イ① (思判表)

	<ul style="list-style-type: none"> ・もっといこまをしまってほしい。 ・動画やポスターを作りたい。 <p>○生駒市の魅力を伝える資料を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見る人が分かりやすいように応援する場所を決めよう。 <p>○各クラスや他校に向けて発表する。</p> <p>○他校と交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞きやすいように声を大きく発表しよう。 <p>○交流して分かったことや考えたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの校区だけでなく、他のいこまの場所でも良い所がたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のよさを生駒市の他校の児童に知ってもらうという相手意識をもたせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・発表時には、相手に聞こえやすく、自分の考えを伝えるためには、どうしたらいいか考えさせ、再度、相手意識をもたせる。 ・自分たちの地域だけでなく、生駒市の他の地域でもたくさんの魅力があることに気づかせる。 	<p>イ② (思判表)</p> <p>ア② (知・技)</p> <p>ウ② (主体的)</p> <p>ウ③ (主体的)</p> <p>イ① (思判表)</p>
4	<p>○これから自分たちができることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっといろんな人に知ってほしい ・クイズを作ろう。 <p>○もっといろんな人に向けて地域の魅力を発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いこまをPRするクイズをつくろう。 <p>○活動の振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いこまの発展には、そこにいる人の思いがあることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未来のいこまのために自分たちがまだできることはないか考えさせる。そのさい、クイズなどを作っていこまをPRする方法を提案する。 <ul style="list-style-type: none"> ・継続していこまを大切に思えるように、人の思いを中心に今までの活動を振り返るようにする。 	<p>イ① (思判表)</p> <p>ウ③ (主体的)</p> <p>イ① (思判表)</p>

○本時のめあて

校区内のじまんでできるところを考えよう。

○本時の展開

	学習活動・予想される児童の反応	指導上の留意点	評価
導入	<p>○生駒市の現状を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルカーがある ・ピククリ通りがある ・生駒山がある ・生駒市は、とても人気がある。 ・どんどこ祭りがある。 <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>・生駒市にあるものや行事などを子どもから引き出す。また、生駒市と周りの市を比べた資料などを教師側から提示し、生駒市の魅力に気づかせる。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>校区内のじまんでできるところを考えよう。</p> </div>			
展開	<p>○自分たちが校区内でじまんでできるところを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピククリ通りがある。 ・いなもりがある ・チロル堂がある。 ・ケーブルカーがある ・宝山寺がある ・生駒山がある <p>○自分たちが出したじまんでできることから残っていてほしい魅力を考える。その後、その魅力は、これからも残っているのかを問いかける。</p>	<p>・じまんでできることを出させる際には、ものに限定せず、どんなこともじまんしたいと思ったことは魅力であることを伝える。</p> <p>・残っていてほしい魅力がこれからも残り続けるかを問い、現状を考え、問題意識をもたせる。</p>	<p>ウ① (主体的に学習に取り組む態度)</p>
まとめ	<p>○次時からの活動を知る。</p>	<p>・今回の活動をふりかえり、次時からは、残っていてほしい魅力について考えることを伝える。</p>	

○本時のめあて

今でも商店街が栄えているひみつを考えよう。

○本時の展開

	学習活動 ・ 予想される児童の反応	学習への支援	評価
導入	<p>○前時の学習をふり返り、商店街にどんなお店があるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チロル堂、いなもり、八百屋、ペンギンクン、中村製菓 <p>○全国的に商店街が減っていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうして減っているのだろう。 ・ 何かひみつがあるのかな。 <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ よく行くお店や、行ったことがあるお店をふり返らせる。 ・ 商店街の写真を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国的に商店街が減っている資料を提示する。 	
<p>今でも商店街が栄えているひみつを考えよう。</p>			
展開	<p>○昔の商店街の写真と今の商店街の写真を見比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔は駅前に鳥居があった。 ・ お店がたくさんあった。 ・ 昔はバスがなかった。 ・ たくさんの人がいる。 <p>○今でも商店街が残っている理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街にしか売っていないものがある。 ・ 安くて、新鮮なものがある。 ・ 仕事帰りに買い物ができる。 ・ たくさんの人に来てもらうために工夫している。 ・ いこまのいいところなので残すためにがんばっている。 <p>○調べる方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お店の人に聞く。 ・ 買い物をしている人に聞く。 ・ 商店街をよく知る人に聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変わっていないところや今現在も変わり続けているところに目を向けさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不思議に思ったことや疑問に思ったことも話し合うようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで学習した調べ方を思い出させる。 	イ① (思・判・表)
まとめ	○次時からの活動を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前のことをよく知る人やお店の人を招いて学習することを伝え、商店街が今でも栄えている秘密を探っていく意欲へつなげる。 	

○本時のめあて

いこまのよさを残していくためには、どうすれば良いか考えよう。

○本時の展開

	学習活動・予想される児童の反応	指導上の留意点	評 価
導 入	<p>○前時の振り返り</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>・たくさんの人の話を聞いて考えたことを、ワークシートを見ながら振り返る。その際、どの人も「いこまのためにかんばる」という思いがあることを再度確認する。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> いこまのよさを残していくために、自分たちができることを考えよう。 </div>			
展 開	<p>○商店街がどうしたら残るのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんのお客さんに来てもらう。 ・たくさんのもを買ってもらう。 ・商店街をたくさんの人に知ってもらう。 <p>○生駒市の魅力を伝える方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを作る ・動画を作る ・絵を描く ・町で宣伝をする 	<p>・商店街がこれからも残っていくためには、自分たちの力が必要だと改めて考えさせ、残していくにはどうしたらよいか考えさせる。</p> <p>・主に発信の方法を考えさせ、これからの活動の意欲を高めるようにする。</p>	<p>イ① (思考・判断・表現)</p> <p>ウ② (主体的に学習に取り組む態度)</p>
ま と め	<p>○次時からの活動を知る。</p>	<p>・これから、自分たちが中心となって活動に取り組んでいくことを伝え、活動意欲を高める。また、グループに分かれて活動することを伝え、次時まで自分自分がどこを応援したいのかを考えるように促す。</p>	

○本時のめあて

「街を守るために自分ができることを考えよう。」

○本時の展開

	学習活動・予想される児童の反応	学習への支援	評価
導入	<p>○前時までの活動をふりかえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お家の人とポスターを見に行った。 ・色々な人に見てもらえて良かった。 <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターなどの児童が作成したものを写真とともに振り返る。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>街を守るために自分ができることを考えよう。</p> </div>		
展開	<p>○これから自分たちができることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっといろいろな人に知ってほしい。 ・クイズを作ってみるのはどうなのか。 ・街のことを友だちや知り合いに教えてあげる。 ・街の商店街で文房具を買う。 <p>○出た意見をふまえ、次時からの活動を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズだと楽しいこまの街のを知ることができるね。 ・インターネットで見られるようにすると全国の人がいこまの街を知れるね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合いいろいろな意見を聞くことができるようにする。 ・様々な街PRの映像や広告を見せ、様々な人がいろいろな方法で街の魅力を伝えていること、街を大切にしていることを知れるようにする。 	
まとめ	<p>○次時の活動の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがいこまの街を残すためにしていることを伝え、街への思いを持てるようにする。 	

○本時のめあて

自分たちでまとめたものを、生駒南小学校の3年生に発表する仕方を考えよう。

○本時の展開

	学習活動・予想される児童の反応	指導上の留意点	評価
導 入	○生駒南小学校の3年生と交流することを伝える。 ・喜ぶ ・どのように伝えるのかわくわくする。	・児童のわくわく感、やる気を引き出すようにする。	
展 開	○ポスターを発表する仕方を考える。 ・ポスターを見せながら、発表する。 ・パペットを使って発表する。 ・ポスター以外にも資料を作って発表する。 ○各班で話し合う。 ○ワークシートを使って、発表する内容を決めて、役割を決める。	・各班が同じにならないよう工夫させる。 ・班員全員に役割があるようにすることを伝える。	ウ② (主体的)
ま と め	○各班が決めたことを確認する。 ○次時には、練習して録画することを伝える。	・各班のよいところ、がんばっているところに気づかせる。	